

【会員拡大特別室】

室長 植木 和也

所 信

私は会員拡大特別室室長を受けるにあたり、会員拡大について改めて深く考えることにしました。(社)丹波青年会議所が未来の丹波の発展の為、運動発信を今後も継続させていくには、会員数を拡大していく事は当然のことであり、これまで私もそう考えておりました。もちろんそれを否定するわけではありません、ただ今一度その会員拡大に対する考えを掘り下げる必要があるのではないか、そしてその先には、会員を増やす会員拡大のみではなく、我々の活動そして我々自身を発信するJ C拡大に繋げていかなければならない、そういう思いから改めて自分なりに考えてみました。

まずは会員である私自身、会員が増えることはJ C活動をしていく上でプラスかマイナスかといえればプラスです。なぜならば多くの人と関わることにより、様々な角度からものを見ることができます。通常事業者は孤独であり、すべて自分で意思決定しないといけない為、別の角度でものを見られるという機会が極めて少ない。それは経営にも影響し、だからこそ、多くの人のももの見方をお互い学び合うために会員拡大は必要。

次に地域経済の活性化という観点から考えてみました。地域経済を活性するためには地元産業、企業が活発でなければならず、そして、その企業を舵取りするのは今後我々の世代が中心となるでしょう。しかし後継者がすべてにおいて完全かといえばそうではなく、悩み苦しみ、その中から楽しさ、やりがいを見つけます。青年会議所はそんな同じ思いを持った仲間たちが活動する場であり、失敗したり成功したり苦楽をともに出来る場所。世の中景気も悪く前年と同じことをしていると年を追うごとに業績が下がっていくという認識のもと、常に前進していくような志が必要であり、そういった背景を踏まえこれまで考えたこともないようなことに、多くの仲間と挑戦することに意味があります。その挑戦の場として私は青年会議所を活用してもらいたいと考えます。

会員拡大を成功させる為には大きく二つの柱が必要です。一つ目の柱とは現役会員または新入会員が組織の一員として力を発揮できるような環境整備。二つ目の柱は広報活動や実際に入会希望者に説明するなどの入会促進活動。これら二つの柱がしっかりとしなければ会員拡大の成功とは言えません。

一つ目の柱、環境整備につきましては、現状の分析から始め新入会員へのフォロー体制を確立し、現役メンバーのJ C活動へのモチベーションの向上に努めます。やはり現役のメンバーが青年会議所に魅力を感じていなければ、新たな仲間に対し自信を持って勧誘することはできないでしょう。

次に入会促進活動につきましては「トライアル・アンド・エラー」をスローガンに進めてまいります。入会促進という目的を達成させるためには、トライアル・アンド・エラーを繰り返し、その中から最適な「成功パターン」を見つけ出し、組織全体としてうまく共有し全員拡大で挑もうと考えます。限られた時間、人員で効果的なトライアル・アンド・エラーを引き出すためには、行動した結果が成果に結びついたのかそうでなかったのかを、できるだけ短時間で直接的に分かるようにするため、期間をうまく区切ることにより、結果を早く見えるように工夫してまいります。このように入会促進に関しては、企業の営業手法に近い形で進めてまいろうと考えております。

2012年度、丹波市を担う多くの青年達に、丹波青年会議所というステージで活躍してもらえよう、まだ見えない未来の仲間を探していきます。より多くの「仲間」という財産を携えて輝かしい次代の丹波J Cへ向かうべく、今年一年活動してまいります。

基本方針

- 一、入会促進活動
- 一、組織環境整備
- 一、JC 拡大

事業計画

1. 会員拡大
2. 2月会員拡大例会
3. 一般社団法人申請及び準備
4. 行政や各種団体との連携・協力・交流
5. 復興支援活動への協力
6. 各委員会との連携及び支援
7. 理事長諮問に関する事項